

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

64

2021/1



謹 賀 新 年

本年も大洲中央病院を
どうぞよろしく願います。

社会医療法人北斗会 大洲中央病院 理事長 院長
大久保 啓二



明けましておめでとうございます。令和も3年目を迎え新しい時代もいよいよというところですが、昨年から続く新型コロナウイルスによる感染は、いまだ終息する気配が見えません。インフルエンザとよく比較されますが、累計の死亡数はむしろインフルエンザの流行より少ないのに、何故これほど警戒されるのでしょうか。一つ目は単純に、死亡者数が少ないのは東アジアだけで他の地域では多数の死亡者が出ていることでしょう。二つ目は、インフルエンザと比べて症状の出ない潜伏期間が長く、その時期に感染が広がってしまうという目に見えない不安感が大きいように思います。三つ目は、感染により予想していなかった元気だった人が、予想しない速さで悪化し亡くなる事例が報告されることにあるようです。

日本には昔から「災い転じて福となす」という諺があります。日々のニュースを見ていると、感染者数の増加や経済の落ち込みなどの暗い話題に混じって、明るい話題も散見されます。春の緊急事態宣言時期にはテレワークが話題になりました。web会議も急速に広がりました。いままで常識と思っていた働き方に大きな変化が生まれています。「コロナ禍で気づいた無駄なもの」の第1位は通勤時間だそうです。web会議も移動時間などの効率化だけでなく、web会議のほうがより積極的に発言することが多くなったと言われます。怖い上司が目の前にいない分自由さが増すのでしょうか。また、キャッシュレス決済も一般化するなど、急速にデジタル化が進んだ1年であったように思います。私はといえば、外出制限や県外自粛などが長期化し、休日を自宅で過ごすことが多くなりました。今回のきっかけがコロナ禍であったことから、感染症の勉強をする時間がずいぶん増えました。勉強した内容を元に、病院内では感染症対策・抗菌薬の使用方法などの見直しをする良いきっかけにもなりました。最近では、ニュースでよく耳にする基本再生産数や今後の感染者数予測などを理解するために、理論の元になっている感染症学や、ワクチン話題の背景を知るための免疫学・分子生物学などの復習もしています。皆さんは生活スタイルの変化から何をみだしているのでしょうか。

さて、ワクチン接種がいよいよ始まりました。ワクチン開発には、一般的に500億円の費用と2年以上の日数が必要と言われています。それがこの1年で複数のワクチンが実用化に漕ぎつけたのは、全世界で新型コロナウイルスを封じ込めようとする熱意の現れです。今後ワクチンの効果・副反応など課題はありますが、1日も早く安心な生活に戻れるよう祈るばかりです。病院としても出来るだけの協力をして、新型コロナウイルス感染症に対応していきますので、今年も皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

今号では、新しく導入したCT装置と脳血管撮影装置の紹介をします。

新しいCT装置の紹介

キャノンメディカル社製の「Aquilion Prime SP」という、最新の80列CT装置を導入しました。

CTとはコンピュータド・トモグラフィ (Computed Tomography) の略で、コンピューター断層撮影法と訳されます。CTは、人体のまわりを回転するX線を当てながら体内の情報を集め、それを重ね合わせてコンピューター処理をすることで、様々な画像を表示することができます。前機に引き続き、今回更新したCT装置でも0.5mmという非常に短い間隔で撮影することが可能で、更に画像処理速度が1秒間60枚から70枚に向上したことで、より短時間で高画質の画像作成ができるようになりました。



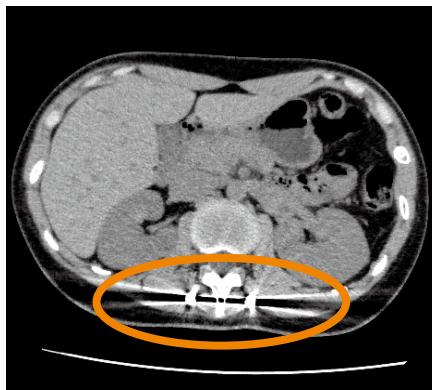
CT装置

最新技術を活用することで、より鮮明な画像が短時間で撮影できるようになりました。

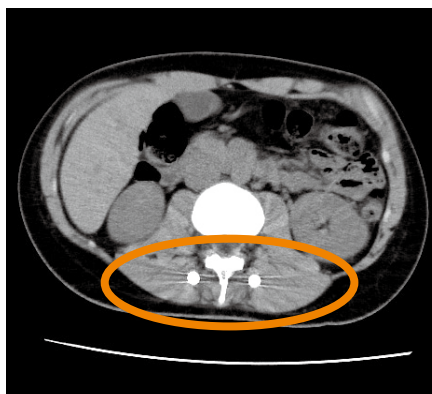
患者さんが通る中心部の穴は78cmあり、これはCTの中でも最大で、背中が曲がった方や両腕の挙上が難しい患者さんでも、無理なく撮影を行うことができます。また、CT装置本体の大きさが以前よりコンパクトになり、検査室内のスペースが広がったことで、ベッドやストレッチャーなどでの移送がスムーズにできるようになり、患者さんだけでなく職員の負担軽減にも繋がっています。

CTの特性上、撮影する場所に金属などの固いものが写ると、画像に乱れが生じることがあり、この現象をアーチファクトと言います。例えば、手術によって体内に入れた人工関節や金属プレート、受傷した患者さんの体内にある釘などによってアーチファクトが発生することがあります。今回更新したCT装置には、アーチファクトを低減させることができる最新の技術「SEMAR」が搭載されています。また、撮影する部位の周辺に金属が

ある場合、アーチファクトが写り込む場所に角度をつけて撮影することで、アーチファクトを無くす、あるいは軽減させることが可能です。新しいCT装置では、この傾ける角度の数値が大きくなり、最適な角度をつけて撮影することが容易になりました。これらの最新技術を活用することで、アーチファクトの影響が少ない画像が提供できるようになりました。



SEMAR 処理前



SEMAR 処理後

新しい血管撮影装置の紹介

キャノンメディカル社製の「Alphanix Bplane」という最新の血管撮影装置を導入しました。

血管撮影装置とは、血管内にカテーテルと呼ばれる細いストローのような管を挿入し、その管から造影剤を注入しながら血管の状態を撮影する、いわゆる「カテーテル検査」を行う装置です。血管のカテーテル検査ではDSAという撮影を行います。DSAとは、デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィ (Digital Subtraction Angiography) の頭文字の略で、デジタル差分血管造影法と訳されます。この検査は、造影剤という画像にコントラストを付けたり特定の組織を強調して撮影するための薬を使用して撮影します。造影剤を使用した画像には血管や骨など様々な物が写っていますが、この造影剤を入れながら撮影した画像から造

影剤を入れる前の画像を差し引くコンピューター処理を行うことで、目的血管と病変の画像だけをより鮮明に分かりやすく表示することができます。

今回更新した装置は、以前の血管撮影装置に比較して、より微細な血管や病変を撮影することができるようになりました。また、パイプライン方式という正面と側面の2方向を同時に撮影できる技術も搭載しており、より低いX線量での撮影が可能になりました。これにより、撮影時間が短縮され、造影剤量や被ばく量が低減することで、患者さんの負担を軽減すると共に、より高画質な画像が撮影できるようになりました。



血管撮影装置

当院では血管撮影装置を用いて、様々な検査や治療を行っています。

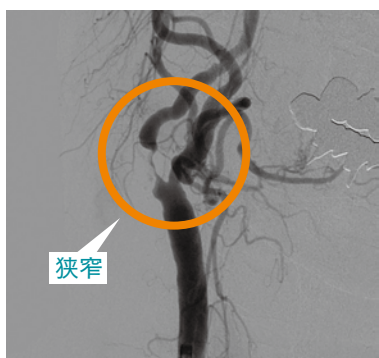
血管撮影装置を用いたカテーテル検査では、目的とする血管の形状や血流状態の観察・診断することに加えて、病変部の治療も行うことができます。当院では、この血管撮影装置を用いて様々な頭部血管の検査や治療を行っています。具体的には、動脈瘤や動静脈奇形へ細い金属を入れて詰める塞栓術、狭くなった頸動脈の内側から、管を風船の様に膨らませて血管を広げるバルーン血管拡張術、金属性のメッシュ状の筒を血管の内側に留置し血管を広げる頸動脈ステント留置術 (CAS)、脳の血管に詰ってしまった血栓を回収し脳の血管の血流を再開通させる血栓回収療法などを行っています。

脳血管疾患の治療方法には、これらの血管内治療の他に開頭術などがありますが、どちらの治療を行うべきかは患者さんの病状によって異なります。「どちらが優れている」ではなく「どちらが患者さんにとってメリットが多いか」という視点で選択することが重要で、最新の装置を導入することによって、より適切な治療方法の選択肢が広がります。

当院には内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科があり、画像診断にお

いても広い領域の疾患への対応が求められます。また、急性期の高度な検査・治療もっており、最新の医療検査器の導入と共に放射線技師の撮

影や操作技術の更なる向上が必要不可欠です。今後も、あらゆる検査に精通できるよう、放射線科職員一同努力してまいります。



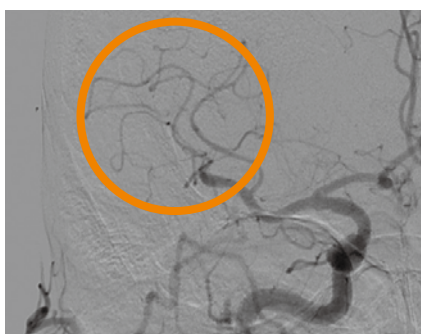
狭窄

CAS 前



ステント留置

CAS 後



血栓回収前



血栓回収後

栄養関係功労者知事表彰を受賞して

この度、栄養指導業務功労者知事表彰を受賞し、大変光栄に思っております。これは、患者さんや諸先輩方、病院関係者のご理解・ご支援があつての受賞と深く感謝しております。また、当院も給食管理運営の功績が認められ、特定給食施設として受賞しました。

私は当院に勤務して40年近くになりますが、入社当初は想定もしていなかった課題が生じ思うように解決できず、力不足を痛感する事もありました。しかし、栄養指導を継続していく中で、少しずつ検査値が改善し、患者さんがお元気になられる姿にやり甲斐を感じたことが思い出されます。

患者さんにとって、食事は療養生活を支える大切な生活の一部です。今後も、食を通して患者さんをサポート出来るよう、より良い献立作りと安全安心な食事提供に努めてまいります。



栄養科科长
二宮 藤子

からだに効く
レシピ

ゆずのレアチーズケーキ

■材料 (カップ4個分)

ビスケット	6枚
豆乳	200ml
水	50ml
粉ゼラチン	5g
ゆず	1~2個
クリームチーズ	100g
砂糖	25g

■作り方

- ①ビスケットをポリ袋に入れて細かく砕き、大きじ1の豆乳を加えて全体になじんだら容器の底に敷く。
- ②ゆずは良く洗って使用する。果汁を45ml分絞る。皮はすりおろす。
- ③水を入れた小皿に粉ゼラチンを入れてふやかしたら電子レンジで500W30秒加熱する。
- ④ボウルにクリームチーズ、砂糖、残りの豆乳、ゆずの果汁、ゆずの皮、③を入れてよく混ぜる。
- ⑤①の容器に④を流し入れ、冷蔵庫で2時間以上冷固める。
- ⑥飾り用のゆずを飾る。

Pointb
ゆずの皮には果汁の約4倍のビタミンCが含まれています。

大洲中央病院栄養科



院内美術館
30

すぐそばにある絵画

『レスリーズビュー』
レスリーセイヤー作

女性らしい柔らかなタッチと色鮮やかに描き出された花々

今回ご紹介するのは、1F内視鏡センター受付横にある、レスリーセイヤーの「レスリーズビュー」。幼い頃から花に親しみ、色やフォルムだけでなく、花々が語りかけてくるものを感じとり鮮やかな色彩で描き出しています。

次号は、カシヨール「カバリエ」をご紹介します。

レスリーセイヤー / 1947年アリゾナ州フェニックス生まれ / 1969年アート・センター・カレッジ・オブ・デザイン・バサディア校卒業 / 1970年個展ボンウェル・ジュラー・開催 / 1974年 / 1984年グループ展開催 / 1989~93年ロサンゼルス、ニューヨーク、ロサンゼルスのアートエキスポ出展

高次脳機能障害支援研修会に参加しました

11月9日に八幡浜保健所が主催する高次脳機能障害支援研修会に参加しました。当院は愛媛県より指定を受け、高次脳機能障害に関する八幡浜圏域での相談支援協力機関としての役割を担っており、活動状況の報告を行いました。

研修会には圏域の保健・医療・福祉に従事されている方々が44名参加され、支援拠点機関である松山リハビリテーション病院の担当者からは、「高次脳機能障害の理解と対話」と題した内容で、症例も交えながら講話がありました。また、家族会「あい」の担当者からも活動報告があり、予定時間内では収まらないほどの充実した研修会となりました。参加者に対してのアンケート結果報告から、同研修会への参加が初めての方や当院の活動状況等を知らない方が約4割あり、十分に周知されていないことも把握できました。

今後も八幡浜保健所と協力しながら、高次脳機能障害の支援・普及に向けて活動を継続していきたいと思います。



連携室室長 池田 辰也

愛大ICTの院内ラウンドがありました

10月5日に、愛媛大学医学部附属病院より感染制御チーム(ICT)が来院、毎年1回の院内ラウンドが行われました。当院のICTチームと共に、外来から病棟までの各エリアをラウンドして頂き、日々実施している感染対策の有効性と問題点について指導して頂きました。特に今年は新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえて、外来での感染対策を重点的に確認して頂き、手指消毒が出来る箇所を増やすなどの改善を行いました。また、病院全体でも、手指衛生の状況や物品の保管、消毒方法など、様々な観点での確認をして頂きました。コロナ禍の中で、病院内だけでなく日常生活においても感染防止対策の重要性が高まっています。今後も、問題点は速やかに改善し、良い点は更に充実させると共に、職員全員が日々の感染対策を確実に実行することで、患者さんに安心して療養して頂ける環境作りに努めてまいります。



看護部 中材看護主任 亀山 州平

お月見会を開催しました

10月29日に、介護医療院ほととの秋の季節行事としてお月見会を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、ご家族を招待できなかった為、入所者の方々と職員での開催となりました。

感染予防策をとりながら、少しでも秋を感じて頂こうと、会場にはススキやお月見のモチーフを飾り付けました。お月見会では、まず全員で「つき」を合唱した後、職員手作りの土俵に紙製の力士を乗せトントン相撲を行いました。それぞれの持てる力を発揮して、入所者同士で対戦して頂きましたが、本人はもちろん周りの応援もあり大いに盛り上がりました。その後は、栄養科手作りのお月見ゼリーを召し上がって頂きました。短い時間でしたが、入所者の方々の笑顔や仕草に職員一同大変嬉しい気持ちになりました。

今後もコロナ禍の中ではありますが、入所者の方に少しでも季節を感じて生活して頂けるよう支援していきたく思います。



介護医療院ほとと 看護師 金川 理香

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 賢之	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 賢之	大久保啓二
	2診	岡本 傳男		岡本 傳男	井上 明子	岡本 傳男	岡本 傳男
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 賢之	大久保啓二	非常勤
	4診	浅川 建史		清家 愛理	清家 愛理	非常勤	浅川 建史
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明		栗田 英明	栗田 英明	非常勤	藤澤 圭史
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	西川 真弘	重川 誠二 末廣 諭	橋本 尚樹(第1) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	西川 真弘		西川 真弘	西原 潤	(隔週) 森 秀樹(第1-3-5) 真田紗代子(第2-4)	西原 潤
形成外科							

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日(1～4月) 救急診療のみ… 3月20日(出)
休診日…火曜、水曜、2月11日(休)、4月29日(休)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後5時30分
(新型コロナウイルス感染予防のため変更になる可能性がありますので、事前にお問い合わせください。)

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
(日曜日18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、
市立八幡浜病院(夜)

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界各地で猛威を振るい、世の中に暗い影を落としました。そんな中で、家族と過ごすひとときや、普段は見過ぎてしまっていた季節ごとに移ろう庭木や山々の変化など、日々のささいな出来事がとても贅沢なことだと気づかされました。未だ終息の兆しも見えず、閉塞感の漂う世の中ですが、日常に小さな喜びを見つけながら過ごしたいと思います。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河雅史(放射線科長) / 竹岡照枝(看護師長)
道休 由佳里(看護師長) /
木村 優志(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
藤岡 真里子(栄養科) / 谷本 志津(医事課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

